



ADRC Highlights

Vol.57

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

October 16, 2002

➤ シンガポール国際財団主催 NGO 会議で ADRC が基調講演

9月13～14日、シンガポール国際財団(SIF)が第2回シンガポール人道援助会議を開催しました。会議にはシンガポールのほか、マレーシア、インドネシア、パキスタン、インド、フィリピン、オーストラリア、アメリカの NGO が招待され、アジア各地での災害援助活動についての事例報告がなされました。



アジア防災センターはこの会議の冒頭の基調講演を依頼され、所長の西川が「総合的な防災へのアプローチ(TDRM)と NGO の重要な役割」についてプレゼンテーションを行いました。

このシンガポール国際財団をはじめアジアからの NGO 参加者の多くは、本年2月に ADRC と OCHA 神戸が共催した「アジア地域災害 NGO シンポジウム」の参加者であったことから、今後のアジアの NGO のネットワーク化についても意見交換を行いました。

➤ ADRC カウンターパートからの報告 □ 韓国における台風 Rusa による被害状況レポート

2002年8月30日から9月1日にかけての1日で、台風 Rusa により朝鮮半島の中部から東部にかけて大きな被害が出ました。この台風による被害は韓国の近代史上、最も大きな被害を与え、9月30日現在、217名が亡くなり、29名が行方不明、被害総額は4.3億米ドルに及んでいます。また2万7千棟以上の建造物、3万1千ヘクタールの耕地が浸水被害を受けました。

犠牲者の多くは、地すべりや鉄砲水などを含む斜面崩壊によるものでした。被害は、河の流水域が不十分であったために起こった中小河川の氾濫、排水ポンプの稼働容量不足や自然地形を変形したことに起因する都市の低地部への浸水などによるものでした。江原道江陵市1日間の降雨量は870.5mm(韓国の年間平均降雨量の3分の2に当たる量)という最高記録に及びました。この記録破りの降雨量に加え、乱開発が都市部の災害への脆弱性を増大させ、被害を拡大した一要素となったものと考えられます。

韓国政府は、台風 Rusa 襲来後すぐに「激甚被災地」の指定を与える根拠となる国家災害対策法を改訂し、9月13日にすべての激しい被害を受けた都市を「激甚被災地」に指定しました。これにより、より多くの予算をあてて、より迅速に被災地の救援・支援を行うことができるようになりました。9月27日、地方自治体が時宜を得て復興活動にあたることできるよう、総合復興プランが示されました。また、ボランティアや支援金も

かつてないほど多く集まりました。

韓国政府は、現在、政府の災害対策システムを改善に取り組んでいます。まず、洪水軽減対策計画に総合的に対処するため、首相府の下にタスクフォースが設置されました。また、自然災害補償プログラムの導入も検討されています。さらに様々な開発によって増加するリスク軽減のため、1996年より施行されている災害影響評価をより強化していくことが決定されました。

Dugkeun Park, Ph.D., Senior Analyst, National Institute for Disaster Prevention, Ministry of Government Administration and Home Affairs

➤ ADRC への来訪者 □ SOPAC リスク軽減プログラムマネージャー

10月1日火曜日、南太平洋諸国が参加している SOPAC (South Pacific Applied Geoscience Commission) のリスク軽減プログラムマネージャーの Atu Kaloumaira 氏がアジア防災センターを訪れました。



当センターからは機能や活動について説明を行うとともに、同氏からアジア防災センターのスタッフに対し SOPAC の活動内容等について説明が行われました。特に、当センターをはじめ、隣接する国連人道問題調整事務所の情報量の多さや積極的な活動展開に強い関心を示されました。

今後、アジア防災センターと SOPAC が情報交換等を通じ協力関係が構築され、アジア地域のみならず南太平洋地域での防災活動が促進されることが期待されます。

➤ アジアにおける最新災害情報 □ 中国雲南省で地すべり被害

首都北京からおおよそ2,250km 南西に位置する雲南省では、大規模な地すべりにより15名が亡くなり、11名が重傷を負いました。被害の大きかった村落では、14家屋が土砂に埋もれ、200名以上の人々が通信手段や交通網が寸断され、影響を受けています。

□ タイで洪水被害が拡大

2002年8月から10月にかけてタイではモンスーン豪雨の影響で鉄砲水、地すべりによる被害が幾度となく発生しています。当初洪水や地すべり被害は北部タイで頻発していましたが、9月後半から首都バンコクを含むタイ全土に渡って、洪水被害が出ています。これまでに、33地方の128名が亡くなり、62名が負傷しています。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 IHDビル3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行(予定)